



生きる学び

校長 坂野 眞太郎

今年も早いもので、残すところあと 1 か月となりました。皆様にとって 2025 年はどんな 1 年だったでしょうか。子供たちは、様々な日々の経験から多くのことを学び、心身ともに大きく成長しています。

今年度の学校経営方針の柱として「学力向上」を挙げています。これは長期的な目で見ると、豊かな人生を送るために、夢や希望をもって力強く生きていくためにも欠かせない重要課題だと考えています。

現行の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」がキーワードになっています。

「主体的な学び」とは、子供たちが自らの課題に気付き、意欲的に学習に向き合う姿勢を指します。「なぜだろう?」「もっと知りたい」という思いが生まれることで、学びは広がりをみせていきます。

一方、「深い学び」とは、学んだことを基につなげ、活用し、自分の言葉で説明したり、新しい考えを生み出したりする力です。

そのために、学校では授業の中で、子供たち自身が考える時間、友達と考えを共有し違いに気付く時間を大切にしながら授業改善に取り組んでいます。子供たちの生きた考え、学びを大切にしていきたいと思えます。

また、学校生活の中では、教科の学習以外にも先日実施された学習発表会などで、主体的に学ぶことを大切に取り組みました。子供たちの考えを大切にしつつ共有し話し合うことで、よりよいものを作り上げていくこと、相手意識をもって発表することなどを心掛けていました。

それぞれの学年や子供たち一人一人の個性が十分に発揮されていた素晴らしい学習発表会になりました。発表後の子供たちの表情は、達成感にあふれたとても素敵な表情をしていました。また、1 日目の児童鑑賞日では、他の学年の発表を真剣な眼差しで鑑賞していました。

また、保護者、地域の方からも大好評でした。以下にアンケートの一部を紹介します。温かい応援ありがとうございました。

・初めての学習発表会。とても前向きに頑張って練習した成果が出ていました。先生方、PTA 役員の皆様運営ありがとうございました。(1 年)

・長いセリフをよく覚え、スイミーの場面や海の生き物たちの心情の変化が、群読により迫力のある表現になっていたと思います。(2 年)

・早めの練習で安定感がありました。いろいろな種類の楽器が増えていて見ても楽しく素晴らしい演奏でした。(3 年)

・ハキハキと大きな声で発表できて立派でした。グループごとに個性があり、先生に言われたからではなく、自分たちの気持ちで作ったということが伝わってきました。(4 年)

・歌も合奏も難しい曲でしたがまとまっていて感動しました。リズムに乗って表現できていることに素晴らしいと感心しました。(5 年)

・素敵な学習発表会でした。達成感のある充実した表情に満ち溢れていました。また、係の仕事も一生懸命取り組み、やりがいを感じていたようです。成長を感じた一日でした。(6 年)

・観覧席についての改善案が 3 件ありました。次回に向けて、検討してまいります。

12 月の生活目標

気持ちのよい きれいな学校にしましょう

気候もすっかり冬らしくなり、今年も残すところ一か月となりました。2 学期末に向けて学習面・生活面のまとめの時期となりました。新年を新しい気持ちで迎えるためにも、学校では身の回りの整理整頓と学級・校内の美化を改めて呼びかけていきます。ご家庭でも、お子さんと一緒に大掃除などに取り組んでいただきたいと思います。

12月の行事予定			
日	曜	朝	学 校 行 事
1	月	朝会	安全指導 委員会 なかよし班長会議
2	火	学習	
3	水	読書	午前授業
4	木	学習	江戸川区学力の日 区学力調査(1～3)
5	金	学習	
6	土		
7	日		
8	月	学習	クラブ活動 こまっこランラン始
9	火	学習	避難訓練
10	水	読み 聞かせ	午前授業
11	木	集会	お楽しみ集会
12	金	学習	イングリッシュキャラバン(4～6) 水曜時程 5時間授業
13	土		
14	日		
15	月	学習	午前授業
16	火	学習	江戸川区議会見学(5) 水曜時程
17	水	読書	こまっこ学年あそび
18	木	学習	なかよし班活動(年末大掃除)
19	金	学習	保護者会 ウィンタースクール説明会(5) 水曜時程
20	土		
21	日		
22	月	学習	
23	火	学習	
24	水	読書	給食終
25	木	終業式	終業式
26	金		冬季休業日始 ～1/7
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		
学習発表会を終えて			
学習発表会が閉幕しました。各学年が想いを込めてつくり上げた発表はいかがでしたでしょうか。一人ひとりが、学習したことを伝える相手を思い描いて全力で表現しました。 本番の舞台は一度きり。でも、その一度に込められた時間と努力は図り知れません。照明を浴びる姿の裏には、日々の練習、友達と支え合う姿、そんな積み重ねがありました。発表の上手い下手ではなく、相手意識をもって伝えること、最後までやり切ること、それこそが子供たちが得た大切な宝物です。 これからも、この経験を生かした子供たちの活躍を楽しみにしていきましょう。			
特活主任 林 里沙子			